



平成28年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年12月10日

上場会社名 トミタ電機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6898 URL http://www.tomita-electric.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神谷 哲郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 太田 寛 TEL 0857 (22) 8441
 四半期報告書提出予定日 平成27年12月15日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年1月期第3四半期の連結業績（平成27年2月1日～平成27年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年1月期第3四半期	1,202	△10.2	△118	—	△93	—	△97	—
27年1月期第3四半期	1,339	22.5	56	—	115	382.9	111	203.2

(注) 包括利益 28年1月期第3四半期 △86百万円 (—%) 27年1月期第3四半期 112百万円 (48.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年1月期第3四半期	△14.76	—
27年1月期第3四半期	16.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年1月期第3四半期	4,563	3,792	83.1	574.85
27年1月期	4,695	3,879	82.6	587.96

(参考) 自己資本 28年1月期第3四半期 3,792百万円 27年1月期 3,879百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年1月期	—	0.00	—	—	—
28年1月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年1月期の連結業績予想（平成27年2月1日～平成28年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,574	△16.8	△187	—	△161	—	△166	—	△25.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 連結業績予想の修正については、本日（平成27年12月10日）公表いたしました「為替差損の計上、並びに、通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年1月期3Q	8,169,793株	27年1月期	8,169,793株
② 期末自己株式数	28年1月期3Q	1,572,187株	27年1月期	1,572,187株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年1月期3Q	6,597,606株	27年1月期3Q	6,598,296株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、四半期決算短信（添付資料）P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済といたしましては、米国は順調に推移し、欧州も金融緩和が奏功し緩やかな景気回復を見せましたが、中国経済は株式市場の混乱や新常态への移行に伴う景気減速が鮮明となり、新興国も含め総じて景気の先行きは不透明なものとなりました。

我が国経済におきましても、円安によるインバウンド消費が好調である反面、個人消費の伸び悩みや設備投資の鈍化など、景気の先行きに不透明感が見られる状況となっております。

当電子部品業界といたしましては、車載関連は順調でしたが、I T C関連の電子機器は低迷が続き、産業機器分野に於いては機械設備ならびにEMC関連も、年後半に入り鈍化傾向となっております。

このような市場環境の中で当社グループは、小型フェライトコア並びにコイル・トランス製品を中心とした拡販活動を国内外市場で積極的に展開いたしました。また、海外での製造原価低減と品質改善に取り組み、世界競争に打ち勝つことの出来る高性能で高品質の製品を生産すべく活動を続けてまいりました。

当第3四半期連結累計期間のコイル・トランス販売は海外市場で増加したものの、フェライトコア販売は国内外市場で伸び悩み、売上高は12億2百万円（前年同四半期比10.2%減少）となりました。

損益面では、原価率の低減、経費等の削減に努めましたが、円安に伴う仕入原価上昇により営業損失は1億1千8百万円（前年同四半期は5千6百万円の営業利益）となりました。経常損失は営業外収益における為替差益などにより9千3百万円（前年同四半期は1億1千5百万円の経常利益）、四半期純損失は9千7百万円（前年同四半期比は1億1千1百万円の四半期純利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて1億3千2百万円減少し、45億6千3百万円となりました。このうち、流動資産は23億8百万円、固定資産は22億5千4百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて4千5百万円減少し、7億7千万円となりました。このうち、流動負債は2億1千6百万円、固定負債は5億5千4百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて8千6百万円減少し、37億9千2百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、コイル・トランス販売は海外市場で順調に推移したものの、フェライトコア販売は国内外市場ともに伸び悩み、引き続き厳しい経営環境が予想されるため、売上は15億7千4百万円となる見込みです。損益面は前記と同様の理由により、営業損失は1億8千7百万円、経常損失は1億6千1百万円、当期純損益は1億6千6百万円の損失計上となる見込みです。以上の理由により、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成27年12月10日）公表いたしました「為替差損の計上、並びに、通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において営業利益5千3百万円及び経常利益1億9千8百万円、当期純利益1億9千7百万円を計上し経営基盤の安定化の傾向にあります。しかしながら、当第3四半期連結累計期間においては、営業損失1億1千8百万円及び経常損失9千3百万円、四半期純損失9千7百万円を計上する結果となったことにより、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループでは当該状況を解消するため、車載、産業機器、医療機器、省エネ、環境分野を主眼に国内外市場での新規開拓に注力し、積極的な営業活動を展開することで販売拡大を図りながら、海外生産工場の継続的な品質改善や経費削減に向けた取り組みを推進し、利益重視の体制を強化してまいります。

重点課題として以下の3点に取り組みます。

- ①車載、医療機器関連の新規受注獲得
- ②原価低減に向けた品質改善と省力化、自動化の推進
- ③高信頼性、高効率化を目的とした材質開発の促進

研究開発においては、フェライトに関しては、新材質開発、既存材質の改良を行い、フェライトコアの最適設計に採用し市場ニーズに対応した優れた材質を提供しております。また、コイル・トランスは、回路の高密度化・高集積化に伴い小型・効率化に向け、自社製フェライトとの融合に取り組んでおります。今後の新製品、新技法については、電子機器の小型化・高温化・高周波化に伴う小型・高性能・広温度範囲対応フェライトコア、省エネ対応として更なる低損失・高飽和磁束密度・高透磁率フェライトコアの開発・改良等を進めております。また、製造方法におきましても高級製品対応としてフェライトコアの成型技術・焼成技術・精密加工技術の高度化、低コストの製品設計、試作期間の短縮等を図り顧客開発スピードに寄与させております。

さらには、車載用コンバータトランス、セキュリティコイル、センサーコイル、LED照明用電源トランス、医療用電源トランス、産機用センサーコイル、各種SMDトランス開発等、製品領域の拡大に取り組んでおります。

当社グループといたしましては、以上のことから、継続企業の前提に関する重要事象等を解消できるものと考えており、継続企業の前提に関する不確実性は認められないものと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,087,326	988,605
受取手形及び売掛金	558,157	523,881
商品及び製品	230,183	267,366
仕掛品	212,927	229,067
原材料及び貯蔵品	194,167	187,396
その他	138,793	113,402
貸倒引当金	△74	△942
流動資産合計	2,421,480	2,308,776
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	184,846	155,143
機械装置及び運搬具(純額)	27,065	23,325
土地	1,766,275	1,766,275
リース資産(純額)	1,313	345
その他(純額)	7,931	6,152
有形固定資産合計	1,987,431	1,951,242
無形固定資産		
投資その他の資産	58,793	55,458
投資有価証券	218,736	244,386
長期前払費用	254	54
その他	14,367	8,781
貸倒引当金	△5,934	△5,660
投資その他の資産合計	227,424	247,563
固定資産合計	2,273,649	2,254,264
資産合計	4,695,130	4,563,041

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	108,409	93,241
未払法人税等	9,510	4,650
未払費用	97,854	76,273
賞与引当金	8,233	14,407
その他	27,691	27,721
流動負債合計	251,698	216,295
固定負債		
繰延税金負債	26,351	33,882
再評価に係る繰延税金負債	237,721	220,386
退職給付に係る負債	25,766	21,459
役員退職慰労引当金	254,836	263,608
その他	19,646	14,788
固定負債合計	564,323	554,125
負債合計	816,022	770,420
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,966,818	1,966,818
資本剰余金	1,334,518	1,334,518
利益剰余金	481,532	384,124
自己株式	△227,029	△227,029
株主資本合計	3,555,841	3,458,433
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57,009	75,128
土地再評価差額金	278,760	296,096
為替換算調整勘定	△12,504	△37,037
その他の包括利益累計額合計	323,266	334,187
純資産合計	3,879,107	3,792,620
負債純資産合計	4,695,130	4,563,041

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年10月31日)
売上高	1,339,027	1,202,366
売上原価	928,338	955,880
売上総利益	410,689	246,485
販売費及び一般管理費	354,517	364,733
営業利益又は営業損失(△)	56,171	△118,248
営業外収益		
受取利息	193	240
受取配当金	2,507	2,130
為替差益	51,590	17,002
雑収入	6,784	6,745
営業外収益合計	61,076	26,118
営業外費用		
製品補償費用	1,305	1,106
雑損失	223	341
営業外費用合計	1,529	1,448
経常利益又は経常損失(△)	115,718	△93,577
特別利益		
投資有価証券売却益	6,800	—
特別利益合計	6,800	—
特別損失		
投資有価証券売却損	6,428	—
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩損	841	—
特別損失合計	7,269	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	115,250	△93,577
法人税、住民税及び事業税	3,830	3,830
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	111,419	△97,408
四半期純利益又は四半期純損失(△)	111,419	△97,408

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年2月1日 至 平成27年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	111,419	△97,408
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,907	18,119
土地再評価差額金	—	17,335
為替換算調整勘定	△22,556	△24,533
その他の包括利益合計	1,350	10,921
四半期包括利益	112,770	△86,486
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	112,770	△86,486
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。